

**ダッシュボード
(教育委員会向けテンプレート)
利用マニュアル**

- 1人1台端末環境が整備される中、個別最適な学びと協働的な学びの実現に向け、教育データの利活用は重要な役割を果たします。
- ダッシュボードとは、様々な教育データを集約・可視化し、わかりやすく簡便に把握するためのツールです。データを既定の形式に加工して入れると自動的に集計・可視化が行われます。



- 教育データ利活用に進めている先進自治体における取組を横展開するため、教育委員会向けダッシュボードのテンプレートを公開しています。本マニュアルに沿って作業いただくことで、各自治体において教育データを用いた分析・活用を行うことができます。
- ぜひ教育データ利活用の第一歩として、各自治体でお持ちのデータを用いて活用してみてください。

<事前に必要な準備>

1. 文部科学省ホームページからテンプレート関連資料のダウンロード

URL : https://www.mext.go.jp/a_menu/other/data_00014.htm

2. Power BI Desktopのインストール

URL : <https://learn.microsoft.com/ja-jp/power-bi/fundamentals/desktop-get-the-desktop>

※ 本アプリケーションはWindows環境でご利用いただく必要があります。

3. 自治体で取得しているデータの確認

(本テンプレートで読み込めるデータ)

- ・埼玉県学力・学習状況調査
- ・出欠状況
- ・保健室利用状況
- ・長期欠席調査
- ・心と体の健康観察

※ 具体的なデータ項目は、テンプレート関連資料③「A_3【（参考）サンプルデータ】学習・出欠・生活面等児童生徒に関する分析レポート.xlsx」で確認してください。

※ 上記全てのデータを取得していなくてもダッシュボードは利用できるので、まずはどのデータを取得しているのかを確認してください。

作業フロー全体

(1)文部科学省ホームページからダウンロードしたテンプレート関連資料の確認

(2)Cドライブ直下へのフォルダの作成
・テンプレート関連資料の格納

(3)入力フォーマットへのデータ入力

(4) Power BI Desktop上で入力フォーマット読込（テンプレート利用開始）

必要に応じて
データ更新

<(1)：テンプレート関連資料の確認>

- 文部科学省ホームページからテンプレート関連資料の以下 3 ファイルがダウンロードできていることを確認する。

テンプレート関連資料（pbixファイルとExcelファイルのセット）

- ① 「A_1_学習・出欠・生活面等児童生徒に関する分析レポート.pbix」
→ Power BI Desktop上で動作するテンプレートファイル
※ダウンロード時にファイル名が変わりますが、このファイル名に修正をお願いします。
- ② 「A_2【入力フォーマット】学習・出欠・生活面等児童生徒に関する分析レポート.xlsx」
→ 各自治体で保有するデータを入力するデータ入力フォーマット
※ダウンロード時にファイル名が変わりますが、このファイル名に修正をお願いします。
- ③ 「A_3【（参考）サンプルデータ】学習・出欠・生活面等児童生徒に関する分析レポート.xlsx」
→ サンプルデータがあらかじめ入力されているデータフォーマット
※ ②にデータ入力する際の参考として活用ください。
※ ②にデータ入力せずに①のファイルを開くと、③に入力されているサンプルデータでのグラフが表示されます

 A_1_学習・出欠・生活面等児童生徒に関する分析レポート.pbix
 A_2【入力フォーマット】学習・出欠・生活面等児童生徒に関する分析レポート.xlsx
 A_3【（参考）サンプルデータ】学習・出欠・生活面等児童生徒に関する分析レポート.xlsx

テンプレート関連資料のセット

< (2)-1 : フォルダの作成 >

- Cドライブ直下にフォルダを作成する。

※フォルダ名は「pbi_source」とする。

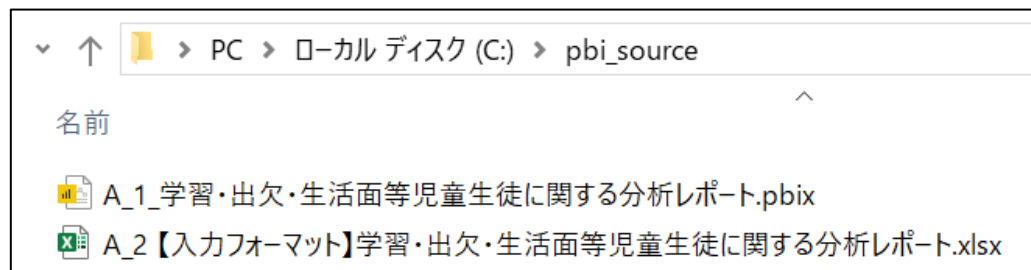


< (2)-2 : テンプレート関連資料の格納 >

- (2)-1で作成したフォルダに(1)で確認したテンプレート関連資料のうち、以下2ファイルを格納する。

- ①「 A_1_学習・出欠・生活面等児童生徒に関する分析レポート.pbix 」
 - ②「 A_2【入力フォーマット】学習・出欠・生活面等児童生徒に関する分析レポート.xlsx 」
 - ※ ③「 A_3【（参考）サンプルデータ】学習・出欠・生活面等児童生徒に関する分析レポート.xlsx 」
はデータ入力に当たっての参考のため、格納不要。

※テンプレートファイルの設計上、**2ファイルのファイル名はマニュアル通りに修正してください。**

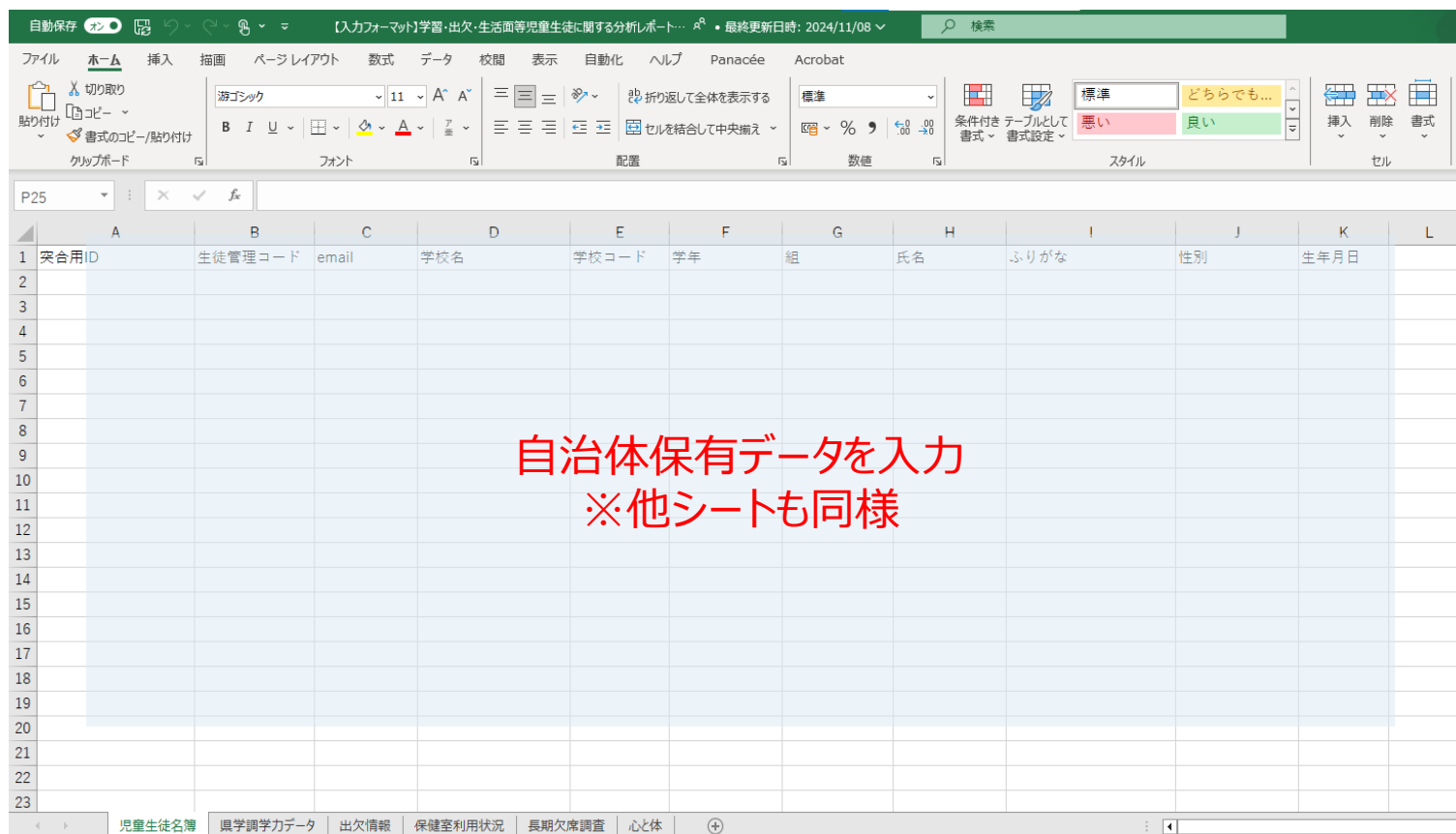


< (3) : データの入力・保存 >

- (2)でCドライブに格納した②「 A_2【入力フォーマット】学習・出欠・生活面等児童生徒に関する分析レポート.xlsx 」(Excelファイル) に、自治体保有のデータを入力し、上書き保存をする。

※入力フォーマットへのデータ入力の際は、③「 A_3【(参考) サンプルデータ】学習・出欠・生活面等児童生徒に関する分析レポート.xlsx 」を参考にしてください。

※全てのデータを取得していなくてもダッシュボードは利用できるので、まずは取得しているデータから順次活用してみることをお勧めします。

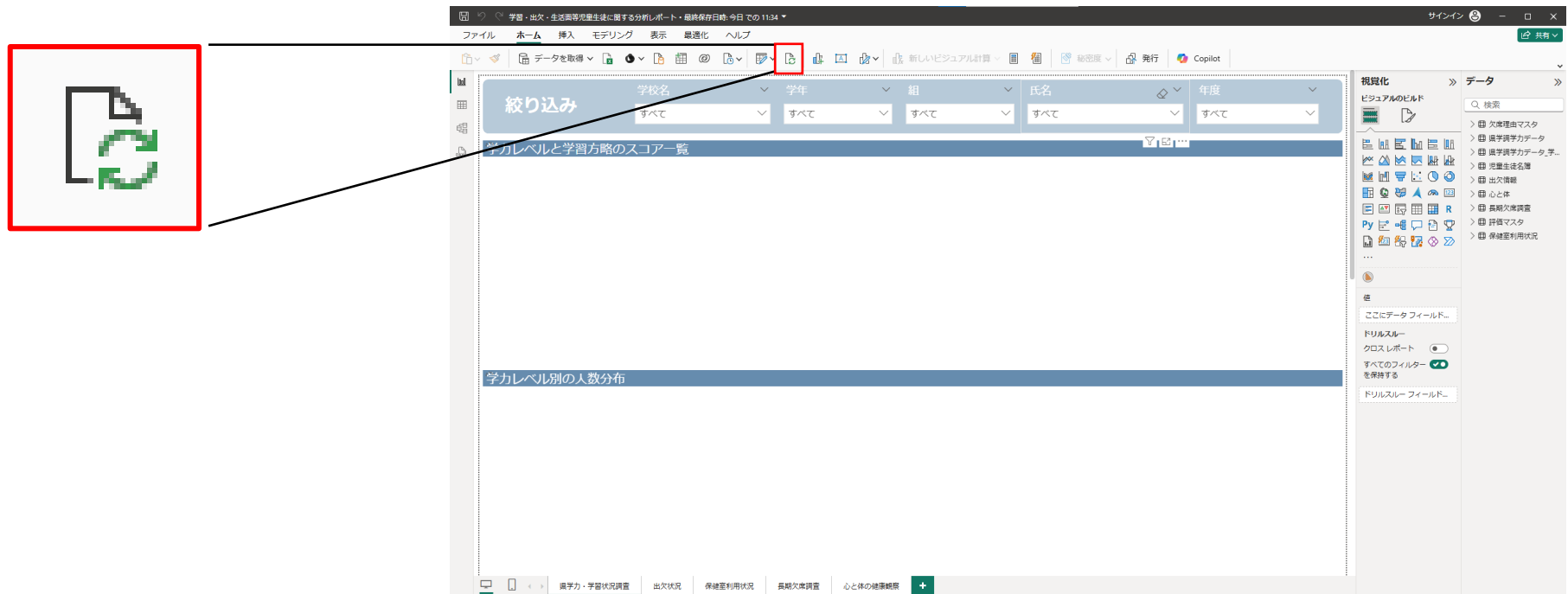


< (4)-1:Power BI Desktopの立ち上げ>

- (2)でCドライブに格納した①「 A_1_学習・出欠・生活面等児童生徒に関する分析レポート.pbix 」をクリックする。

< (4)-2:入力フォーマットの読込>

- 以下赤枠のボタンをクリックする。



Power BI Desktop上でのデータの可視化が実施され、利用開始可能になります。
※ 新規データの追加やデータの更新を行う際は、前頁(3)と(4)を再度実施してください。